

宮城県防災会議 第6回東日本大震災検証・記録専門部会 議 事 要 旨

1 専門部会の概要

日 時：平成26年12月3日（水）午後1時から1時45分まで

場 所：宮城県行政庁舎9階 第一会議室

出席者：石森 建二 宮城県 総務部理事兼危機管理監

平川 新 宮城学院女子大学 学長

今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所 所長（教授）

芳賀 一夫 東日本電信電話（株）宮城事業部 設備部長

菅 太 東北地方整備局 企画部企画課長補佐

岩井 幸一 陸上自衛隊 第22普通科連隊 第3科長

佐藤 孝志 南三陸町 危機管理課長

花海 秀樹 仙台市消防局 警防部警防課長

2 議事次第

- ・開会
- ・あいさつ
- ・議題
 - （1）「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証－」
について
 - （2）その他
- ・閉会

【配布資料】

- ・資料1
「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証－」について
- ・資料2
「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証－」概要版
- ・資料3
「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証－」
スケジュール
- ・資料4
「検証記録誌 配布計画」
- ・参考配布
「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証－」本冊
「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証－」概要版

3 議事要旨

(1) 「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証」について

- 事務局から「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証－」（以下、「記録誌」という。）について、資料1に基づき記録誌に記載する項目等を説明した。

また、資料2の概要版において、前回部会における意見に基づき加筆修正した内容を説明した。さらに、参考配布の本冊及び英訳版や東見本による確認を行った。

資料3に基づく今後のスケジュール、資料4の配布計画を説明した。

- 平川副部長から資料4の配布計画について、配布先に大学を追加していただきたいこと、また、今村委員も監修に携わった東日本大震災の分析に係る著書を、記録誌本冊の第9章「地震・津波研究と今後の方向性」において、参考文献として表記いただきたい旨の意見があった。

事務局から、大学への配布については予備分を精査の上、厳選して配布を行っていくこと、また、参考文献については漏れなく記述する旨を説明し、了承を得た。

- 今村委員から、概要版（日本語版・英訳版）について県ホームページからダウンロードできるように検討したい旨の意見があった。

事務局から、本冊も含め県ホームページに掲載することと併せ、これまで県ホームページに掲載していた記録誌関係の情報について、利用しやすいようホームページの環境を整えていく旨を説明し、了承を得た。

- 佐藤委員から、本記録誌について各自治体間で情報を共有し、また、記録誌に記載している教訓を生かしながら今後の対応を行っていききたい旨の意見があった。

(2) その他

- 今回を持って専門部会が終了となることから、各委員からこれまでの部会における議論の総括や今後の防災・減災対策等について総括していただいた。
- 各委員からの総評として、関係機関の対応も含めた一冊の記録誌として取りまとめたことは、非常に意義のあることであり、本記録誌を参考にしながら関係機関との連携を図り、今後の対策に役立てていきたいとする意見が大半であった。

－ 終 了 －